



大すきいっぱい土の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和4年4月8日
土井首小学校
文責：校長 江原芳樹
第1号

令和4年度がはじまりました。本日、55名の新一年生を迎え入れ、全児童392名で今年度のスタートです。土井首小学校が、さらに伸びていくよう、全職員・全児童で取り組んでいきます。

今年度の学校教育目標

今年度、学校教育目標を一新しました。

土の子が、より良い自分のづくり手となることを願い、土井首小学校の学校教育目標を

自ら考え、共に生き、自分づくりに取り組む土の子 としました。

キーワードは、「自分づくり」です。子ども自身が、自分を育てる力、高める力を身に付けることができるよう取り組んでいきます。また、「自分づくり」に3つの柱を設けています。「学びづくり」「くらしづくり」「仲間づくり」です。どれも学校生活に不可欠なものです。これらを与えられるものではなく、主体的に自ら取り組んでいくものへと転換させたいと考えています。

私たちの願い

学びに向かう子どもを育てたい
心動かす出会いがあこがれを生み出す
あこがれは夢となり
より良い自分を創造しようとする
大きなエネルギーを生み出します
より良い自分を創ることは
自ら学びに向かい研鑽することです

より良いくらしを創る子どもを育てたい
やさしさは強さ 強さは正しさ
働くことの喜びと 役立つ幸せ
気づき 考え 実行する
自分で選ぶ勇氣の心が
正しく導く正義の心が
子どもを幸福な人生のつくり手にします

仲間づくりに喜ぶ子どもを育てたい
校舎に響き合う子どもたちの声
仲間のがんばりに 仲間との協力で
共に伸びる喜びが満ちていく
かしこく ゆたかに たくましく
友達と共に学び続ける子どもを育てたい

ゆかしく歴史をたたえる土井首小学校で
自ら学びに向かい
仲間と遊び 共に働き
社会の担い手となり豊かな人生を送る
自分づくりに取り組む子どもを育てたい

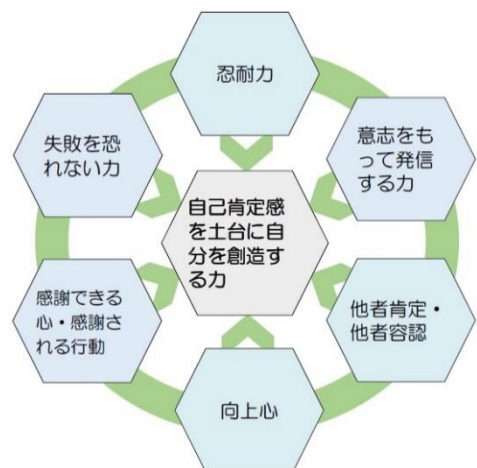
これが、私たちの願いです。

子どもたちとの合言葉は、今年度も「大すきいっぱい」です。

「学校大すき、お友達大すき、お父さん・お母さん大すき、先生・地域の方々大すき、そして、私は私が大すき」と実感しながら、「自分づくり」に取り組む子どもをめざします。

そのために、右のような6つの力の育成を大切にしたいと考えています。

「忍耐力」「意思をもって発信する力」「他者肯定・他者容認」「向上心」「感謝できる心・感謝される行動」「失敗を恐れない力」です。



今年度の職員

令和4年度の土井首小学校の職員です。どうぞ、よろしくお願いします。

校長	専科
教頭	初任研
教務	養護教諭
1の1	事務主幹
1の2	庁務員
2の1	栄養士
2の2	
3の1	
3の2	支援員
4の1	支援員
4の2	ALT
5の1	EEL
5の2	SC
6の1	調理員
6の2	調理員
ふれあい	調理員
フレンド	調理員
スマイル	
ステップ	
ハミング	どうぞ、よろしくお願いします。

個人名ためHP上では割愛しています。

《校長室散歩道 R4 版 No. 1》

「子どもが変わった。」とは、大人の視点からの言葉だろうと思います。確かに社会環境、生活環境は変わりました。そうした変化をもっとも受けるのは子どもですから、子どもが変わったように見えるのは理解できますが、私は「子どもの本質は変わっていない。」と信じています。とは言え、多様化していると感じているのも事実です。

その多様化した現状にどう対応するのか考えるとき、「大人の視点から」を変えていかななくてはと気付くようになりました。

「スーツケースから風呂敷へ」という言葉があります。スーツケースは型と大きさが決まっていますので、それに合わない型や大きさを受け入れることができません。しかし、風呂敷は多様な型や大きさに応じてその包み方を変えることができます。長い棒であっても、いびつな形であってもです。これが「大人の視点から」を変える方法です。子どもは大人の用意した型や大きさに収まらないものです。風呂敷のように、その子にあった包み方ができる大人でありたい。願えばかりですが、そう考えているところです。